

四谷大塚	6年						
	理科						
学習内容	1回 天体・地球②2回 物質の変化③3回 いろいろな生物						
家庭学習ポイント	1回「生物1（植物）」を、第2週に合不合格判定テストをはさみ、2回「地学1（天体）」を学習した後は3回「物理1（力学）」4回「化学1（水溶液）」を学習します。どの回も、特定の単元に特化した授業としては最後になるため、知識の最終確認授業になります。1回の学習範囲は膨大で、かなり家庭学習も大変な状況になるかと思います。この段階では「解く→解いたものから学ぶ」をどんどん繰り返すしかないので、このサイクルに無駄が出ないように工夫することが大切です。たとえば天体単元は、合不合格判定テストを含め、入試でも頻出ですから、合不合格判定テスト前に予習シリーズ・夏期講習教材・四科のまとめを活用して総復習を行ってから臨むなど、テスト週もムダにしない工夫ができそうです。また2回「物質の変化」、3回「いろいろな生物」の内容についてあやふやな点や知識の抜けがある自覚があるなら、合不合格判定テストの直しがてら、ざっと知識部分の確認、覚え直しを4科のまとめで行うなど、少しの時間で工夫できそうなこともあるでしょう。時間の無駄をなくす工夫を行いましょう。						
課題の把握と解決策	チェック1	次の授業で扱う単元について、知識面の不安などがありますか？					チェック
	解決策	あるなら「4科のまとめ」などで知識を補充して臨みましょう					☐
	チェック2	授業で解く1問1問から「学び」を感じていますか？					チェック
	解決策	授業もテストも過去問演習もすべて「解く→解いたものから学ぶ」をどんどん繰り返しましょう					☐
	チェック3	宿題演習でも時間を計るなどの工夫をしていますか？					チェック
	解決策	理科だけではなくですが「集中力をアップする」ための工夫です					☐
	チェック4	第一志望校の出題傾向が大まかにはわかっていますか？					チェック
	解決策	授業で問題を解く際にも「自分の志望校だったらどのような出題になるだろう」と考えましょう					☐
	チェック5	知識分野の学習はコツコツ続けていますか？					チェック
解決策	「ルーティン」の学習としての知識学習は入試直前、当日まで続けましょう					☐	
四谷大塚	6年						
	社会						
学習内容	1回 都道府県と地形図 2回 人物でみる歴史 3回 日本の政治 4回 歴史をささえた民衆						
家庭学習ポイント	地理・歴史・公民の総復習が続きます。1回は地理分野で「都道府県と地形図」、合不合格判定テストをはさんで2回は歴史分野「人物でみる歴史」、3回は公民分野「日本の政治」です。理解して使える用語を増やしていく勉強です。問題を解いただけでは、力がついていきません。解けなかった問題については「次回確実に正解させるために、覚えておくべきことは何だろう」と考え、それを覚えましょう。そうやって1つ1つ答えられる問題を増やしていけば、おのずと合格は近づいてきます。一日の終わりに「今日は何を覚えただろう？」と自問してみましょう（親御さんが聞いてあげてもいいですね）。このときすぐにいくつかの返答が思い浮かぶ学習を心がけてください。苦手な分野がある程度明確になっているのであれば、闇雲に問題を解くよりも、過去の予習シリーズの内容をきちんと理解し直した上で「四科のまとめ」の該当範囲を解くことよいでしょう。この時期ですから単元限定でプロの家庭教師や個別指導を活用するのも1つの方法です。						
課題の把握と解決策	チェック1	合不合格判定テストの直しの予定は立てていますか？					チェック
	解決策	すべての問題、テストについて「解きっぱなし」にならないよう注意しましょう					☐
	チェック2	次回の授業について、知識の不安を感じることがありますか？					チェック
	解決策	あるなら「授業で知識をつけよう」と考えず、あらかじめ「4科のまとめ」で知識補充をしましょう					☐
	チェック3	社会の全分野のうち極端な「弱点」「不得意」はありますか？					チェック
	解決策	どうしても苦手が解決しない場合「個別に習う」という手段も検討しましょう					☐
	チェック4	宿題演習でも時間を計るなどの工夫をしていますか？					チェック
	解決策	家庭学習においても集中力をアップする工夫です					☐
	チェック5	平素からコツコツと知識の学習はできていますか？					チェック
解決策	社会では特に「入試当日の朝までが知識力アップの期間」と心得ましょう					☐	